



東京学芸大学附属世田谷小学校様

MetaMoji Share for ClassRoom の自由度の高さが 子どもたちの能動的な学び「アクティブラーニング」を実現



東京学芸大学附属世田谷小学校の河野広和先生は、iPad を使った教育の研究プロジェクトに取り組まれており、その一環として「MetaMoji Share for ClassRoom」（以下、ClassRoom）を授業で活用されています。今回、5 年生の理科の授業を見学させていただきました、お話を伺いました。

この日の授業では、児童が 1 人 1 台の iPad を使って、1 学期の授業で学んだことを ClassRoom の個別学習ページにまとめていきました。個別学習ページでは、児童が 1 人ずつのページに書き込むことができ、先生はモニタリング画面で、全員の書き込みを一覧できます。

子どもたちは、テキストや手書きで文字を入力したり、絵を描いたり、写真を取り込んでトリミングしたり、工夫を凝らしながら全体が 1 ページに収まるように 1 学期の振り返りを書き込んでいました。



iPad でノートを撮影して、ClassRoom に写真を取り込む児童。



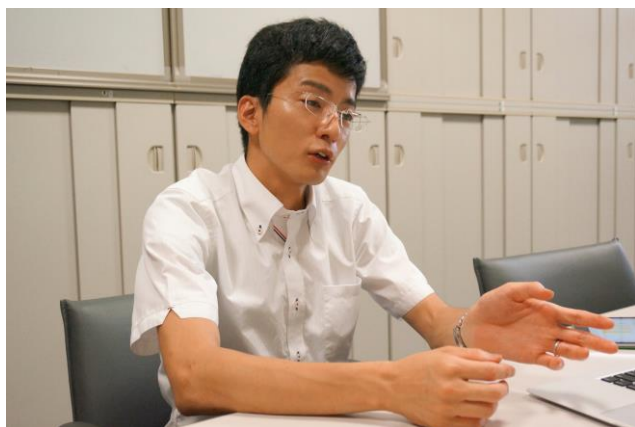
児童は 1 人 1 台の iPad を使って、ClassRoom で授業の振り返りを書き込む。

「振り返り活動」「一覧性の保持」に最適な、 ClassRoom の高い自由度

授業で ClassRoom を活用する効果について、河野先生にお聞きしました。

「ClassRoom の良さは、自由度がとても高いところだと思います。紙と同じような自由さがありながら、画面の拡大・縮小や、データの再利用が簡単にできたり、写真を取り込んだり、デジタルにしかできな

い自由さもあります。この自由度の高さが、アクティブラーニングに役立ちます。



東京学芸大学附属世田谷小学校 河野広和先生

決まった答えを選択するだけの型にはまった授業では、子どもの考える力を育むことはできませんが、ClassRoom を使った授業では、子どもたちが自分自身で考えを深めることができます。

アクティブラーニングを行う上で、子どもが能動的に自分の学びを理解する『振り返り活動』は欠かせません。そのときに 1 ページの中に全体の関連性を考えながら情報をまとめることが重要になります。ClassRoom では、膨大な情報を子ども自身が扱えるようになったこと、一覧性を保ってまとめられること、かつ自由度が高いことから、振り返り活動を行うのにとても適しています。

また、先生側の ClassRoom ではモニタリング画面で全員の画面を一覧できて、子どもたちの状況を確認しながら授業を進められるのも良いですね。

子どもの学びの理解を深めるのを助け、1人1人が

主役になれる授業ができる、まさにアクティブラーニングを実現するためのツールだと思います。」



先生の画面で表示できるモニタリング画面。クラス全員の書き込み状況がリアルタイムで一覧できる。

これまでの授業の延長線上にありながら、ICT 活用で授業をよりよく

「iPad などを使うことによって、写真や動画を扱えたり、情報量を増やせるようになりました。ICT 教育はこれまでの授業の延長線上にありながら、授業をよりよくしていくものだと思います。

例えば、これまで実績を重ねている年配の先生の授業のやり方と ICT がつながれば、きっとさらに面白い授業ができるのではないかと思います。

ClassRoom は、アイデア次第でさまざまな可能性があるツールなので、ほかの先生が授業でどのように使っているのかもぜひ参考にしたいですね。」

お客様プロフィール

- 学校名：東京学芸大附属世田谷小学校
- 住所：158-0081 東京都世田谷区深沢 4-10-1
- 学校 HP：<http://www.setagaya-es.u-gakugei.ac.jp/>

2015 年 7 月取材

■お問い合わせ先

開発・販売

株式会社 MetaMoji

〒106-0032 東京都港区六本木 1-7-27 全特六本木ビル EAST 4F

TEL 03-5114-2912 FAX 03-5114-2526

<http://product.metamoji.com/education/>